

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		天龍峡まちづくり支援事業			課名	観光課	事業No.	212
					会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H19	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画		2	飯田市への人の流れをつくる				
	分野別計画			飯田市観光振興ビジョン				
				地域経済活性化プログラム				
			名勝天龍峡整備計画、名勝天龍峡保存管理計画					
法令・例規等								
事業目的		対象	天龍峡の観光客					
		意図	地域交流人口の増加					

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
		1 「天龍峡再生プログラム」に位置付けられた各種事業、天龍峡大橋を訪れる観光客等に対するおもてなしの充実に向けた事業等を実施し、天龍峡の再生・活性化を図りました。 ・地元団体の活動支援や観光情報の発信、誘客事業の実施 ・天龍峡パーキングエリアを活用した観光・地域振興の取組 ・天龍峡観光案内所の充実とご案内人の育成 ・天龍峡遊歩道龍東道整備（令和元年度からの繰越事業） ・天龍峡の観光施設の維持管理 2 「名勝天龍峡整備計画」による事業を実施し「名勝天龍峡」の適切な保存管理と活用を図りました。 ・新たに完成した天龍峡遊歩道龍東道周辺の森林環境整備		天龍峡おもてなし戦略支援事業等	4,955	(県)観光地等魅力向上森林景観整備業務	2,002	公園・樹木・施設管理業務等	3,998		
			土地借地料等	2,582	龍東道遊歩道整備	23,575	今田平公衆便所改修	911			
			下村広場整備	3,332	(国)名勝天龍峡森林環境整備業務	2,079	名勝天龍峡ガイドンス施設管理	1,374			
			その他の経費	614							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	天龍峡及び天竜川下り舟の観光客数	人	353,000	325,500	300,000	310,900	346,500	331,500	384,000	253,600	
	「そらさんぼ天龍峡」を訪れた人数(上記内数)	人	-	-	-	-	-	-	50,500	-	
	「よって館天龍峡」を訪れた人数(上記内数)	人	-	-	-	-	-	-	8,000	8,075	
	天龍峡をご案内人が案内した人数	人	6,000	5,528	6,000	4,519	6,000	4,078	6,000	812	
2年度決算(千円)	予算額		62,537								
	決算額		45,422								
	財源の状況	国庫支出金	1,000								
		県支出金	1,800								
		地方債	22,300								
		その他	5,100								
一般財源		15,222									
		特定財源内訳及び補正事項 (国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 (1/2) (県) 観光地等魅力向上森林景観整備事業補助金 (8/10) (地) 合併特例(充当率95%) (そ) ふるさと寄附金 3,700千円 (そ) 諸収入 125千円 (そ) 繰越金 1,275千円 1→2 繰越明許費 23,575千円 2→3 繰越明許費 14,536千円									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	14	6	57,793	41,969	天龍峡活性化事業費
2	1	7	1	4	14	7	4,744	3,453	名勝天龍峡整備事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		・遊歩道、広場、温泉交流館、ガイドンス施設、天龍峡大橋そらさんぼ天龍峡及び天龍峡パーキングエリア等、天龍峡観光の拠点となる施設の整備は概ね完了しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数は減少しました。 ・今後は拠点施設を連携・活用し、来訪者が長時間滞在・周遊して楽しめる環境の充実や、ご案内人による遊歩道散策、関係団体等による各種行事の開催など、天龍峡エリア全体の魅力を高める取組を一層推進していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・名勝天龍峡を核にその周辺に整備した施設を結び付け、エリア全体の魅力を向上させるため、地元関係団体、名勝を所管する文化庁、天龍峡パーキングエリアを管理する国土交通省などと十分に連携して、各種取組を実施する必要があります。 ・住民、事業者、関係団体、行政等が連帯して天龍峡の魅力を学び、これからの取組を考える機会を持つことが大切です。							
次年度に向けての取り組み		・拠点施設の活用、地元事業者等との協力により、天龍峡エリア全体の魅力を高め、滞在周遊型観光の構築を進めます。 ・天龍峡大橋そらさんぼ天龍峡、天龍峡パーキングエリア周辺を活用した観光・地域振興の取組を行います。 ・天龍峡ご案内人の育成、若手や有志による活動の促進等、地域住民が天龍峡の魅力を学び、活動する機会を支援します。							